

6月定例会

答弁(市長)

議会から、建物底地に借地があることは将来に禍根を残すことも考えられると指摘されたので、代替地の条件で用地交渉にあたった。

評価額が現在の場所と産業会館南側では1.28倍であり、市条例の定める範囲ではないため、顧問弁護士に相談したところ、地方自治法の規定に当って議会の議決をいただければ(売却が可能である)というお話をいただき、今に及んでいる。多大な税を執行していくわけだが、それ以上に安心、安全を市民に届けていきたいと考えている。

質疑(三宮議員)

庁舎建設に当たっては、社会情勢も反映した上で縮小できるものは縮小するということも検討する必要があると思うがどうか。

答弁(市長)

庁舎建設については、決して華美なものではなく、シンプルな構造にしていく。しかし、50年、60年のプロ

ジェクト事業と思っているので、免震構造等を備えたしつかりとした基礎工事はしていきたいと考えている。

質疑(那須議員)

合併推進債(1)の期限が延びたことにより、少し時間を持つようになったと思うがどうか。



合併新市基本計画に基づく事業のうち、旧市町村相互間の道路等の整備、電算システムの統合、庁舎等の整備などに充てることのできる地方債。5年延長。

答弁(市長)

資金という状況では大変重要な問題ですが、現在の庁舎は、もう47年経過し、耐震性がすぐれず、Is値【1】は0.3未満しかない。もちろん合併推進債も大事だが、一日も早く市民の安心・安全を含めて司令塔となる庁舎を作らなければと考えている。



建物の耐震性能を表す指標。数値が大きいほど安全性が高くなる。国交省の基準では、0.6未満の建物は「震度6強の地震で倒壊する危険がある」とされ、0.3未満なら「危険性

が高い」とされる。市役所は、防災拠点として高い耐震性能(0.9以上)が求められている。

質疑(佐藤博議員)

予算額の妥当性と具体的な審査状況等を尋ねる。

答弁(伊藤総務委員長)

庁舎建てかえについて、庁舎改築等検討委員会(市議会)庁舎改築等特別委員会等で議論を深めてきた経緯がある。また、県や他市の状況を含んで総務委員会や本会議で説明があった。それで、それぞれの議員が判断し、総務委員会で委員として議論をし、総合的に委員会の皆さんは判断され、質疑、討論をした後、賛成(多数で原案了承)であった。

討論

反対討論(那須議員)

なるべく将来の負担を残さない方向で、市民の役に立つ市役所、市民とともに進める市政として、役割を果たしていくことを求め、反対する。

賛成討論(平野議員)

合併推進債が利用できなくなった場合、実質償還金額が約14億円多くなり、新庁舎建設は非常に困難になると考え、賛成する。

反対討論(佐藤博議員)

充実した審議が必要。内容について詳細に吟味し、急ぐだけでなく、慎重に審議することを提起し反対する。

賛成討論(小坂井議員)

災害発生時の被害情報収集や災害対策に対する防災

拠点としての災害に強い庁舎整備は緊急の課題と考え、賛成する。

採決

賛成起立14人で原案可決

反対3人(佐藤博、三宮、那須)

公平委員

任期満了に伴い、後任者任命に同意しました。

伊藤種雄 氏

(62歳・松名)

9月定例会の開催日程(予定)

期日	日 程	放映 予定
8月27日(火)	本会議(議案説明)	
9月 4日(水)	本会議(一般質問)	○
6日(金)	本会議(一般質問)	○
9日(月)	本会議(議案質疑)	
10日(火)	建設経済委員会	
11日(水)	厚生文教委員会	
12日(木)	総務委員会	
20日(金)	本会議(委員長報告・討論・採決)	

~ケーブルテレビ中継~
午前10時~会議終了まで(録画放映は当日午後7時~予定)

※日程は、変更になる場合もありますのでご了承ください。